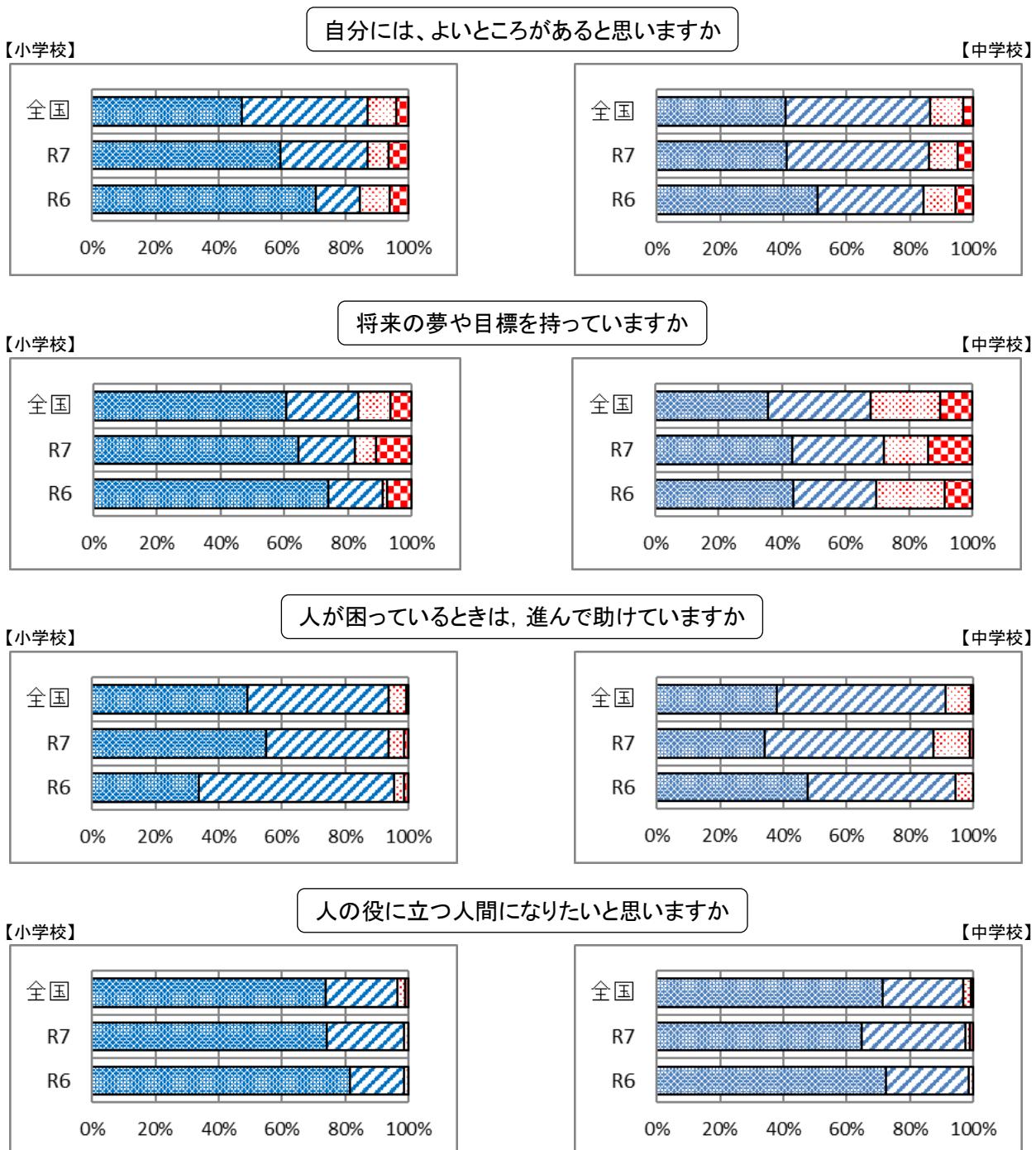


« 質問調査 »

【自己有用感等に関する質問について】

■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない



『将来の夢や目標を持っていますか』の質問では、小中学校ともに「あてはまらない」の回答が全国値を上回った。全国的な傾向もあるが、小学校から中学校にかけて否定的な回答は増加している。キャリア教育の充実を図ることが必要である。本町では、その一環として、子どもたちが様々な分野に興味を持ち取り組めるきっかけとなるよう、文部科学省が後援する検定の受験料を補助する『学びに向き合う子ども応援事業』を実施している。

『人が困っているときは、進んで助けていますか』の質問では、肯定的な回答が昨年度より減少した。小中学校ともに、集団づくりの一環として、班活動に取り組んでいる。班活動等を活用し、支え合うことのすばらしさを日常的に実感させることが必要である。

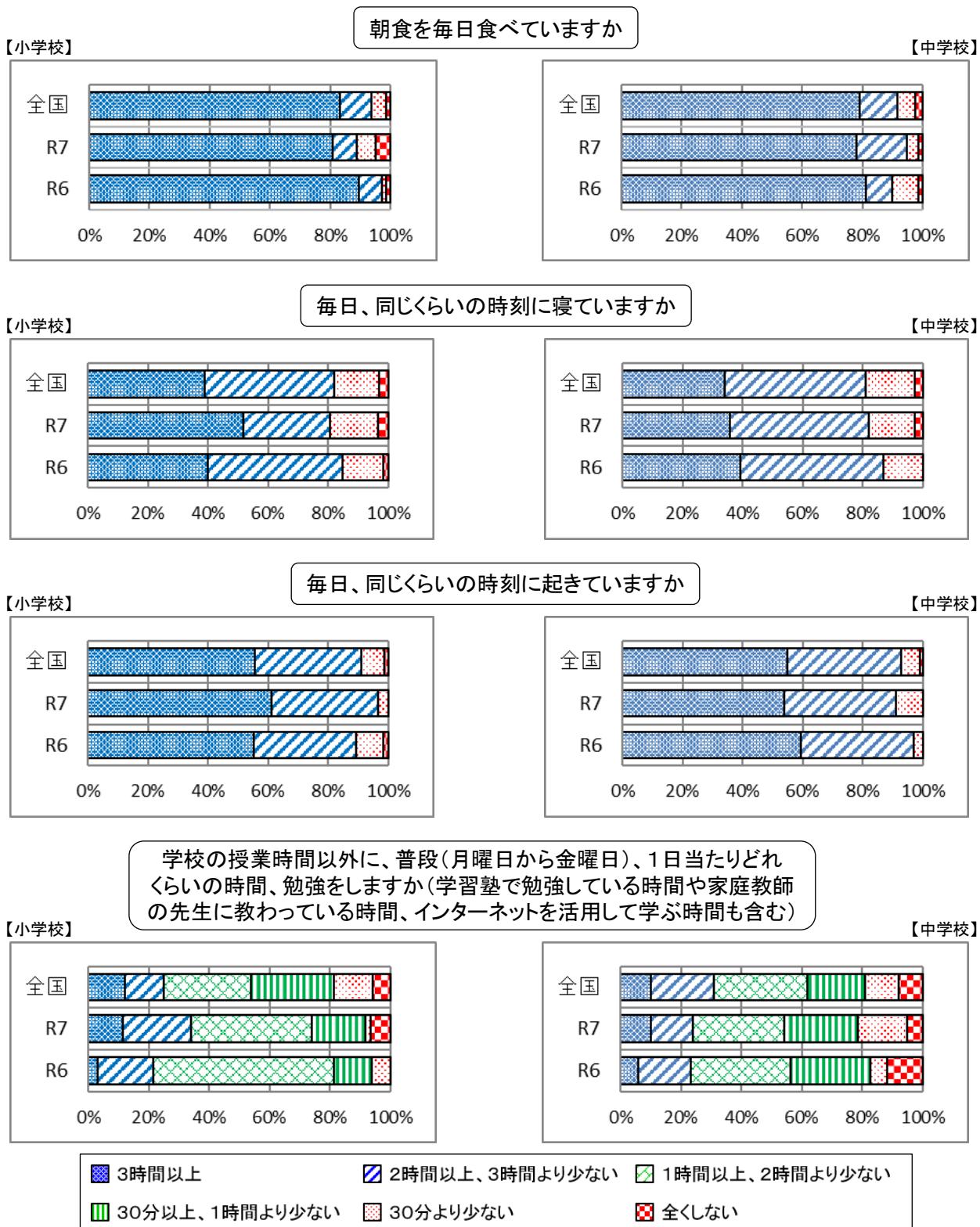
※ 調査項目は毎年度文部科学省において決定されます。

新しく入った項目、毎年調査する項目、数年おきに調査する項目があります。

« 質問調査 »

【基本的生活習慣・学習習慣等に関する質問について】

■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない

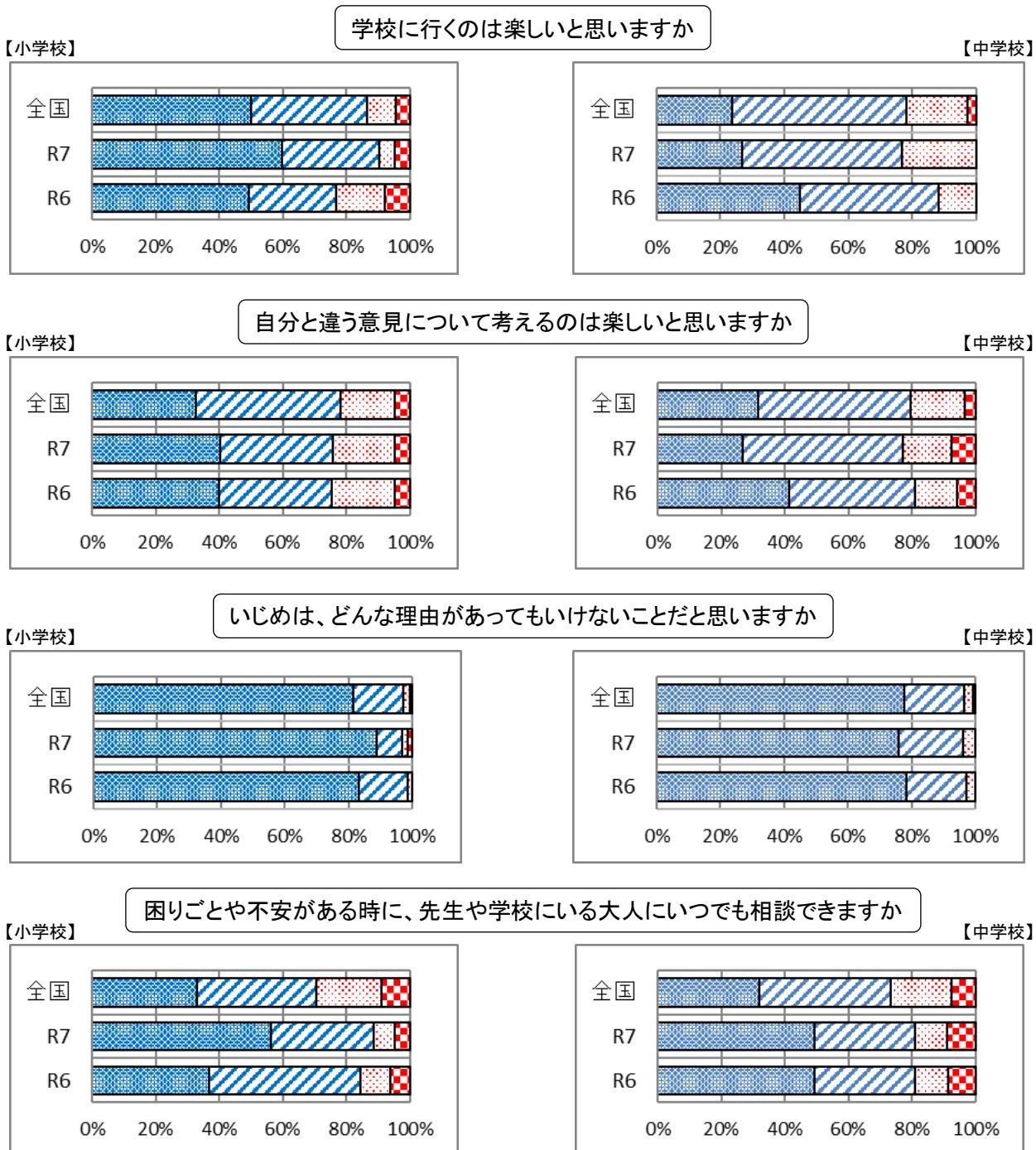


『学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)』の質問では、小学校において、家庭での学習習慣の二極化傾向が見られた。家庭学習の方法の見直しを含め、家庭と学校が協力して、改善していく必要がある。

『質問調査』

【学校生活に関する質問について】

■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない



『いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか』の質問では、小学校において強肯定的回答が昨年度より増加したが、否定的な回答は小学校で3.2%、中学校で3.8%あった。いじめに関する取り組みにおいては、人権教育や道徳教育で素地を養い、核となる授業を充実させる必要がある。

『困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか』の質問では、小中学校ともに肯定的な回答が全国値を大きく上回った。小中学校ともに、学級担任がその学級の子ども全員と話す「個人相談ウィーク(各学期に1回)」や「スクールカウンセラーの配置」を行い、子どもが相談しやすい体制を整えている成果である。

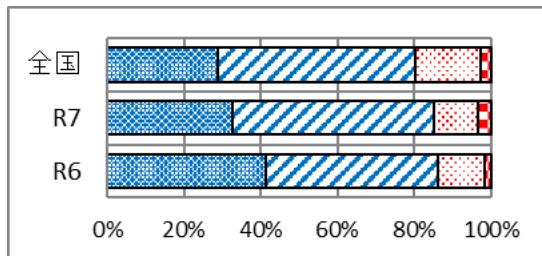
« 質問調査 »

【学習に関する質問について】

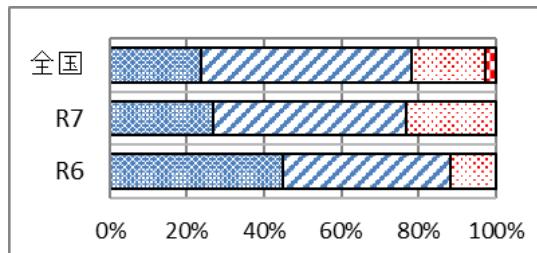
■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない

これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【小学校】

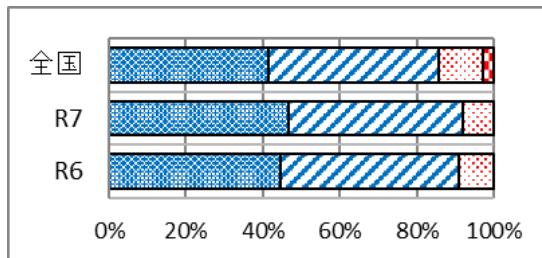


【中学校】

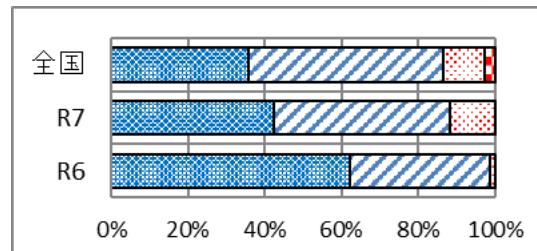


学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか

【小学校】

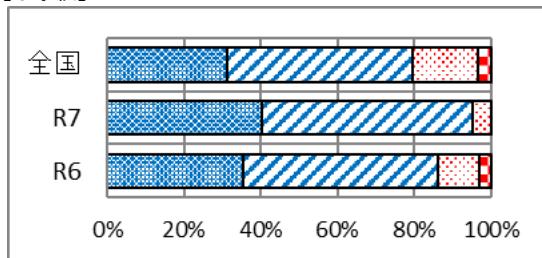


【中学校】

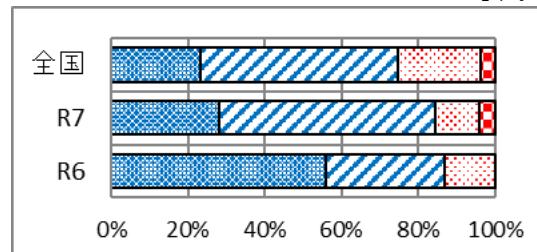


学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

【小学校】

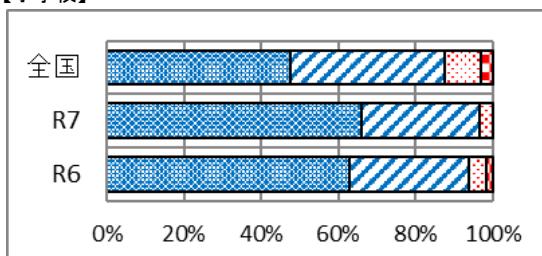


【中学校】

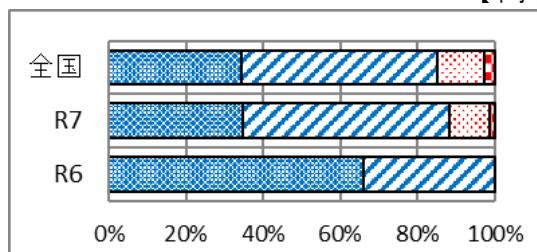


先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

【小学校】



【中学校】

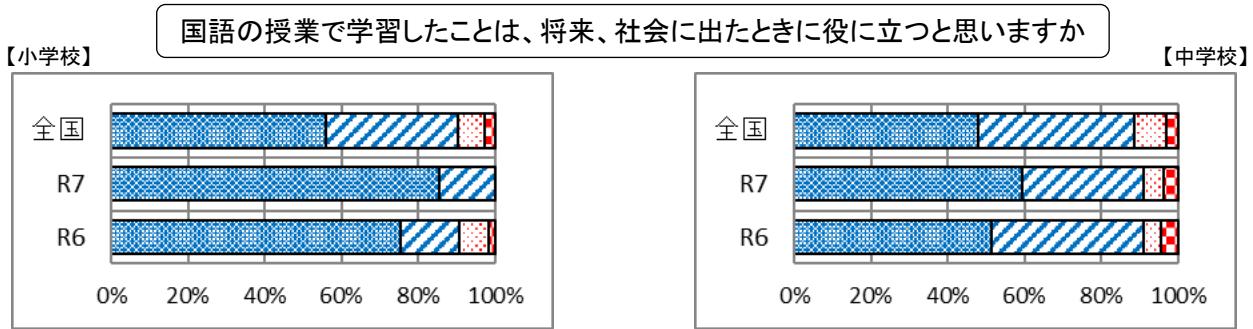
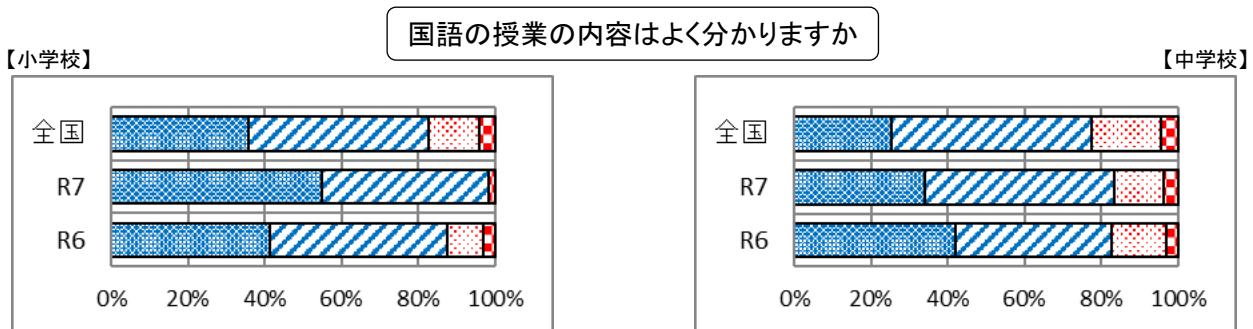
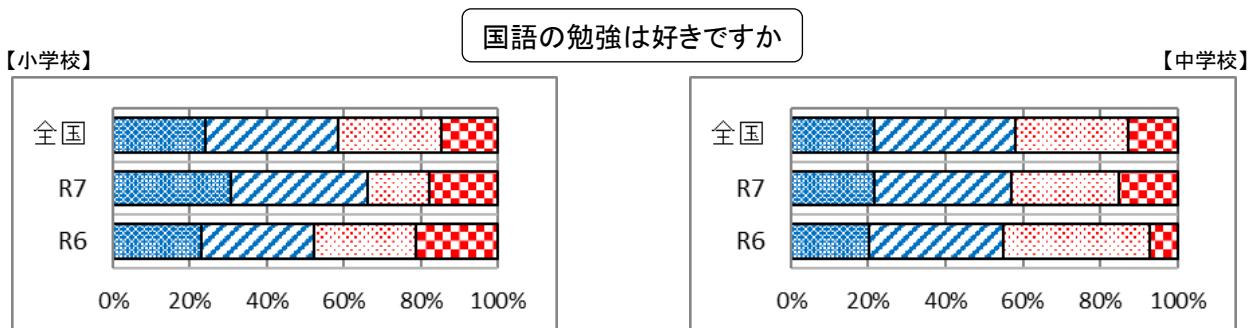


『先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか』の質問では、小中学校ともに肯定的な回答が全国値を上回った。小学校では昼休憩等、中学校ではテスト1週間前の放課後や夏季休業等を利用し、分からぬことを質問できる環境を整えている成果である。

« 質問調査 »

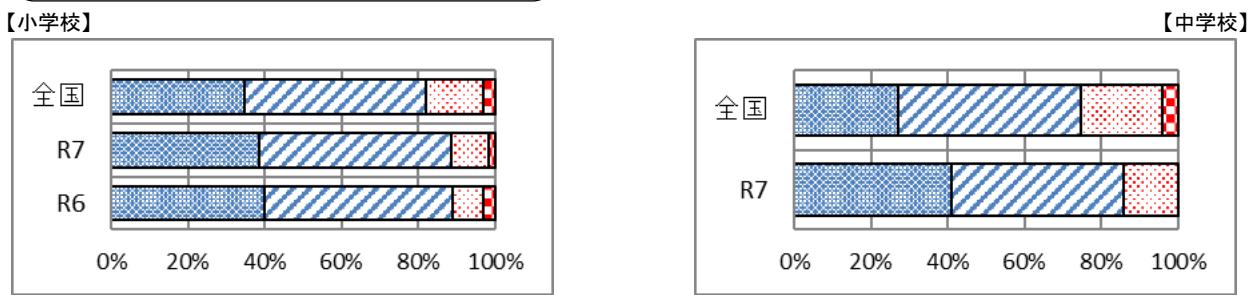
【学習に関する質問について(国語)】

■ あてはまる □ どちらかといえば、あてはまる ▨ どちらかといえば、あてはまらない □ あてはまらない



国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか

国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか



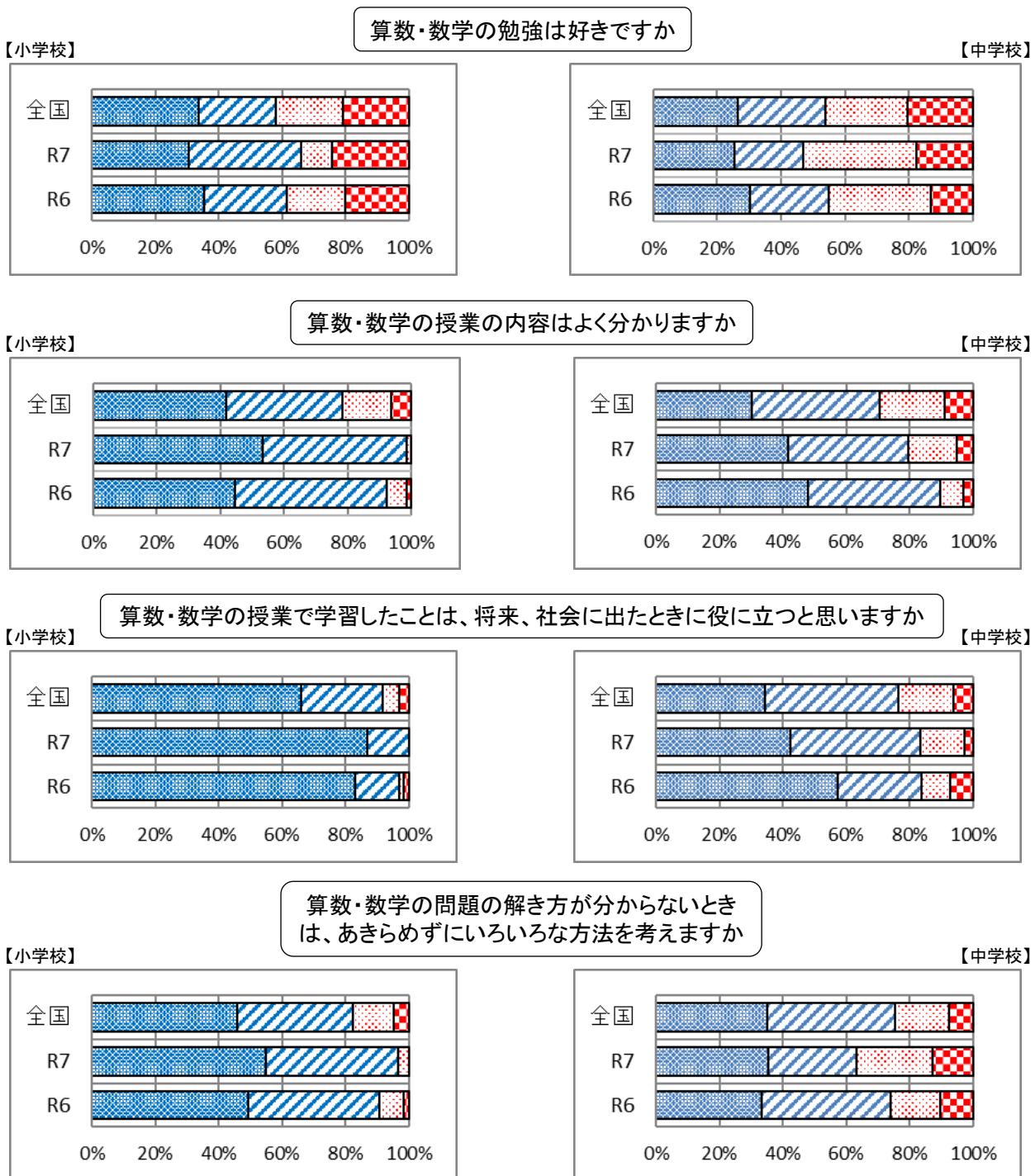
『国語の授業の内容はよく分かりますか』の質問では、小中学校ともに肯定的な回答が全国値を上回った。小中学校ともに、落ち着いた学習環境を整え、きめ細やかな指導を行っている成果である。

『国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか』の質問では、小中学校ともに肯定的な回答が全国値を上回った。実生活や各教科等の学習と関連付けたり、国語の能力を各教科等の言語活動においても発揮させたりしている成果である。

« 質問調査 »

【学習に関する質問について(算数・数学)】

■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない



『算数・数学の授業の内容はよく分かりますか』の質問では、小中学校ともに肯定的な回答が全国値を大きく上回った。小中学校ともに、落ち着いた学習環境を整え、TTや少人数学習等できめ細やかな指導を行っている成果である。

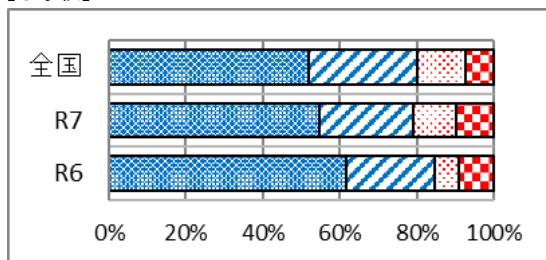
『算数・数学の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか』の質問では、中学校において肯定的な回答が全国値を大きく下回った。授業において、子どもの粘り強さを引き出すためには、子どもの学習意欲を高める課題を設定したり、分からない子どもに対してすぐに答えを与えずに、事前に用意したヒントカードの提示したりすることが必要である。

« 質問調査 »

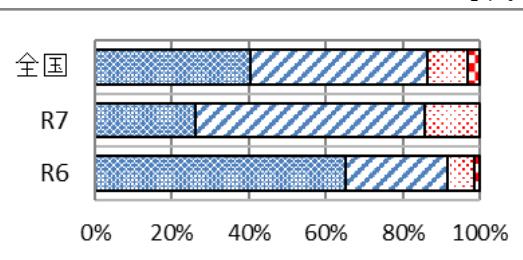
【学習に関する質問について(理科)】

理科の勉強は好きですか

【小学校】



【中学校】



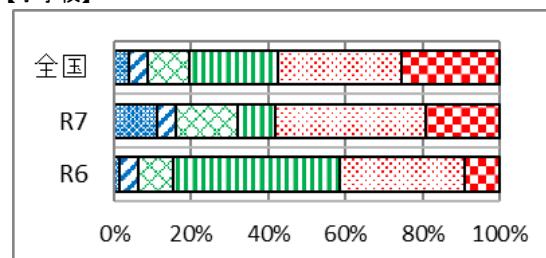
■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない

『理科の勉強は好きですか』の質問では、小学校において肯定的な回答が全国値を3年連続で上回った。小学校において、理科専科教員を配置し、子どもの興味・関心を引き出す専門的な指導を行っている成果である。

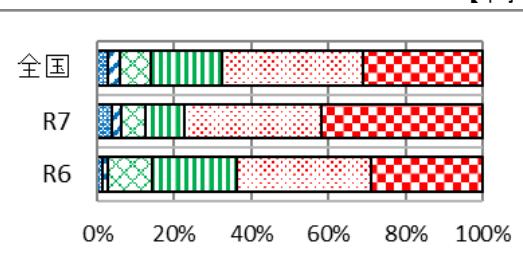
【ICTに関する質問について】

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)

【小学校】



【中学校】



■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない

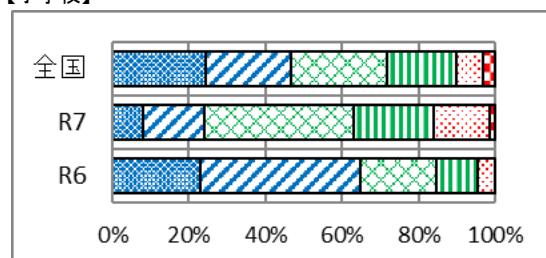
■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない

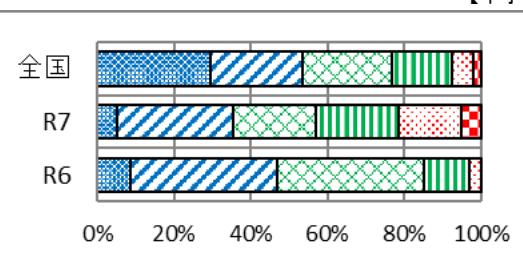
■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

【小学校】



【中学校】



■ ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用) ■ ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業) ■ 週3回以上

■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

『学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)』の質問では、小中学校ともに「2時間以上」と回答した子どもの割合が昨年度より増加した。本町ではAIドリルを導入しており、家庭学習において、子どもの学び方の選択肢が増加している。

『これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか』では、小中学校ともに肯定的な回答が昨年度より減少した。授業におけるICT活用の教員間格差がなくなるよう、ICT研修を継続的に実施していく必要がある。